



條約書寫

洋学文庫  
文庫8  
C 372  
2





北條縣貫屬士族

同縣貫屬士族

見玉武寛 宇田川準 一等傭主、テ米國人「マシテル」

ト取結フ條約尤ノ如シ

第一條

米國人「マシテル」シ 飯田町一丁目九段學舎へ英學  
教師トシテ明治六年八月一日ヨリ九月間雇入  
候事

第二條

「マシテル」ニ 相當ノ部屋シ 與フヘキ事

但シ食料家具奴僕等ハ一切「マシテル」自費タル  
ヘキ事



第三條

給料三人、付キ一圓一方宛ト定メ毎月十日前拵  
、可相渡事

第四條

學舎ノ諸規則傳習時限及ヒ順序等ハ雇主ト  
「マシテル」トニテ定ムヘシ「マシテル」傳習時限ハ土曜日半  
日日曜日及ヒ日本政府休日ノ外一日四時間ト  
相定メ候事

第五條

雇中一切商賣ノ竹助ノ關係不致事

第六條

五ヶ月間過サル内雇主ヨリ此條約ヲ相破レハ過代  
トシテ一百圓「マシテル」ハ可相渡又「マシテル」ヨリ破レハ同  
様一百圓雇主ハ相拵可申事

第七條

日本政府ノ法令并外務省及ヒ文部省ノ規程  
ヲ守ル可キ事

但兩國交際上ノ關係セサル様可致事

第八條

教師隨意、業シ終スル中ハ其日數ノ給料引去ルヘキ事

第九條

雇中過失有之歟或ハ怠惰ニテ其職ヲ盡サル中ハ期限内ト雖モ雇ヲ止メ其日ヨリ給料不相渡候事

第十條

雇中病、羅リ十五日以上教授シ難キ中ハ其

日數ノ給料引去リ可申六十日ヲ經テ猶愈ヘサル中ハ此條約ヲ廢シ給料并償金不相渡候事

第十一條

但し急症ノ病状或ハ变故凡テ即ハ直ニ近傍ニ在ル重利加ノ領受、引渡シ其日ヨリ雇ヲ止メ給料不相渡事

雇中ハ其雇主ヨリ書付ノ許可ヲ得<sup>ルニテ</sup>他

ノ學校ニテ教授スルヲ得<sup>ル</sup>事

第十二條

雇中ハ其親友ヨリ日本政府ノ免許之レキ者ハ止宿ヲ許サレ<sup>ル</sup>事

兎玉武寛

宇田川準一

アルフレト、エム、マンテル

明治六年七月

*[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]*

